

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テークアウト (参考)		
B 4 1 J	5/30	B 4 1 J	5/30	Z	2 C 0 6 1
	29/38		29/38	Z	2 C 0 8 7
G 0 3 B	27/32	G 0 3 B	27/32	H	2 H 1 0 6
	27/46		27/46	B	5 C 0 6 2
H 0 4 N	1/00	H 0 4 N	1/00	G	5 C 0 7 6
審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 10 頁) 最終頁に続く					

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-202208 (P2000-202208)

(22) 出願日 平成12年7月4日 (2000.7.4)

特許法第64条第2項ただし書の規定により図面第7図の一部は不掲載とした。

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社  
神奈川県南足柄市中沼210番地

(72) 発明者 西尾 朋宣

神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地 富士写真フイルム株式会社内

(72) 発明者 桜本 ゆかり

神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地 富士写真フイルム株式会社内

(74) 代理人 100080159

弁理士 渡辺 望純

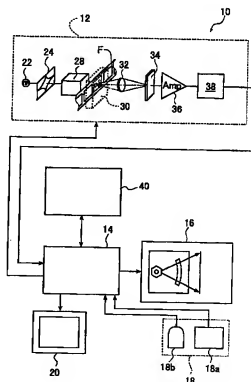
最終頁に続く

## (54) 【発明の名称】 画像処理装置及びこれを用いたカスタマイズプリントシステム

## (57) 【要約】

【課題】顧客のカスタマイズされた注文に応じて、画像処理を行い、顧客の好みを反映したプリントを作成する。

【解決手段】デジタル画像データに対して画像処理を施す画像処理装置であって、前記画像処理についての複数の画像処理条件を、それぞれ複数レベルから選択し、または、予め設定された代表的組み合わせの中から選択し、前記画像処理条件の設定値を既定値から変更して設定する設定値変更手段を備えたことを特徴とする画像処理装置およびこれを用いたカスタマイズプリントシステムを提供することにより前記課題を解決する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デジタル画像データに対して画像処理を施す画像処理装置であって、

前記画像処理についての複数の画像処理条件を、それぞれ複数レベルから選択し、または、予め設定された代表的組み合わせの中から選択し、前記画像処理条件の設定値を既定値から変更して設定する設定値変更手段を備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 前記画像処理は、シャープネス、階調、濃度、色、覆い焼き、部分修正、ロゴ文字入れ、ふちどりの処理であり、前記画像処理条件は、その処理の有無、強弱、濃淡に関する条件である請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】 画像をデジタルデータとして入力する画像入力装置と、

読み取られたデジタル画像データに対して画像処理を施す請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置と、画像処理後の出力用画像データを出力する画像出力装置と、を備えたことを特徴とするカスタマイズプリントシステム。

【請求項 4】 請求項 3 に記載のカスタマイズプリントシステムにおいて、さらに、前記画像処理装置が、前記設定された画像処理条件を、該画像処理条件の施された出力用画像データ中に埋め込む埋め込み手段を備えたことを特徴とするカスタマイズプリントシステム。

【請求項 5】 前記画像処理装置は、さらに、前記複数の画像処理条件を一括してコード化する画像処理条件コード化手段を備え、前記複数の画像処理条件が一括してコード化された情報に基づいて画像処理を行なうようにした請求項 3 または 4 に記載のカスタマイズプリントシステム。

【請求項 6】 請求項 3 乃至 5 のいずれかに記載のカスタマイズプリントシステムにおいて、さらに、フィルム識別番号および、該フィルム識別番号に対応するフィルムに撮影された画像に対する画像処理条件を登録したデータベースを備えたことを特徴とするカスタマイズプリントシステム。

【請求項 7】 前記データベースには、さらに、顧客に関する情報を、該顧客の注文に係る画像処理条件と関連づけて登録するようにした請求項 6 に記載のカスタマイズプリントシステム。

【請求項 8】 請求項 7 に記載のカスタマイズプリントシステムにおいて、さらに、前記データベースは、通信ネットワークにより複数の他のデータベースと接続され、前記顧客に関する情報を基に、前記他のデータベース内にある前記顧客に係る画像処理条件を利用可能なことを特徴とするカスタマイズプリントシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、顧客の注文に応じ

た画像処理を行い、顧客が希望するプリントを作成するカスタマイズプリントシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、ネガフィルム、リバーサルフィルム等の写真フィルム（以下、フィルムとする）に撮影された画像の感光材料（印画紙）への焼き付けは、フィルムの画像を感光材料に投影して感光材料を面露光する、いわゆる直接露光（アナログ露光）が主流であった。

【0003】 これに対し、近年では、デジタル露光を利用する焼付装置、すなわち、フィルムに記録された画像を光電的に読み取って、読み取った画像をデジタル信号とした後、種々の画像処理を施して記録用の画像データとし、この画像データに応じて変調した記録光によって感光材料を走査露光して画像（潜像）を記録し、（仕上り）プリントとするデジタルフォトリソが実用化された。

【0004】 デジタルフォトリソでは、画像をデジタルの画像データとして、画像データ処理によって焼付時の露光条件を決定することができるので、逆光やストロブ撮影等に起因する画像の飛びやツブレの補正、シャープネス（鮮鋭化）処理、カラーあるいは濃度フェリアの補正等を好適に行って、従来の直接露光では得られなかった商品位なプリントを得ることができる。また、複数画像の合成や画像分割、さらには文字の合成等も画像データ処理によって行うことができ、用途に応じて自由に編集／処理したプリントも出力可能である。

【0005】 ところで、このようなデジタルフォトリソによるプリントの出力のみならず、プリントに再生される画像は、顧客（プリントの注文者）に好適に対応しているのが好ましい。そこで本出願人は、すでに特開平 11-331570 号公報において、画像処理によって顧客に好適に対応した仕上げ処理を施し、より商品価値の高いプリントを顧客する画像処理方法および装置を提案している。これは、顧客の職業、性別あるいは年齢等という顧客の情報を取得し、その顧客情報に応じて、施す画像処理および画像処理条件を設定するようにしたものである。

【0006】 具体的には、例えば、フィルムがリバーサルフィルムで、顧客情報として職業がプロカメラマンであることを取得した場合には、フィルムに撮影された画像を忠実に再現するように画像処理条件を設定し、また、例えば職業が工事現場関係者であるという情報を取得した場合には、白飛びや黒潰れのない画像が得られるように覆い焼き処理を強くかけるようにして下を決定する。また、顧客が男性の場合は、顔領域を抽出して、その領域の階調を立てと共に、ディテールを出力するように、シャープネスを強めにかけ、他方女性の場合には、同様に領域を抽出し、その領域の階調を緩やかに共にし、しみ、しわ、そばかす等が目立たないようにシャープネスを弱めにかけるように、あるいは極弱ソフトフ

ォーカスをかけるように画像処理条件を設定する、等である。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、前記特開平11-331570号公報に開示されたものは、顧客の職業、性別、年齢といった顧客情報から、装置側が自動的に画像処理条件を設定するものであり、顧客に好適に対応する（と思われる）仕上げ処理を施しているが、上述したように顧客のカスタマイズされた注文によるものではなく、顧客の外見上の（形式的な）情報から、装置側が独自に判断して画像処理条件を設定しているため、必ずしも顧客の希望を反映していない場合もあるという問題があった。

【0008】本発明は、前記従来の問題に鑑みてなされたものであり、顧客のカスタマイズされた注文に応じて、画像処理を行い、顧客の好みを反映したプリントを作成することのできる画像処理装置及びこれを用いたカスタマイズプリントシステムを提供することを課題とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、本発明の第一の態様は、デジタル画像データに対して画像処理を施す画像処理装置であって、前記画像処理についての複数の画像処理条件を、それぞれ複数レベルから選択し、または、予め設定された代表的組み合わせの中から選択し、前記画像処理条件の設定値を既定値から変更して設定する設定値変更手段を備えたことを特徴とする画像処理装置を提供する。

【0010】また、前記画像処理は、シャープネス、階調、濃度、色、覆い焼き、部分修正、ログ文字入れ、あちどりの処理であり、前記画像処理条件は、その処理の有無、強弱、濃淡に関する条件であることが好ましい。

【0011】また、同様に前記課題を解決するために、本発明の第二の態様は、画像をデジタルデータとして入力する画像入力装置と、該入力されたデジタル画像データに対して画像処理を施す請求項1または2に記載の画像処理装置と、画像処理後の出力用画像データを出力する画像出力装置と、を備えたことを特徴とするカスタマイズプリントシステムを提供する。

【0012】また、前記カスタマイズプリントシステムにおいて、さらに、前記画像処理装置が、前記設定された画像処理条件を、該画像処理条件の施された出力用画像データ中に埋め込む埋め込み手段を備えたことが好ましい。

【0013】また、前記画像処理装置は、さらに、前記複数の画像処理条件を一括してコード化する画像処理条件コード化手段を備え、前記複数の画像処理条件が一括してコード化された情報に基づいて画像処理を行なうようにしていることが好ましい。

【0014】また、前記カスタマイズプリントシステム

において、さらに、フィルム識別番号および、該フィルム識別番号に対応するフィルムに撮影された画像に対する画像処理条件を登録したデータベースを備えたことが好ましい。

【0015】また、前記データベースには、さらに、顧客に関する情報を、該顧客の注文に係る画像処理条件と関連づけて登録するようにしたことが好ましい。

【0016】また、前記カスタマイズプリントシステムにおいて、さらに、前記データベースは、通信ネットワークにより複数の他のデータベースと接続され、前記顧客に関する情報を基に、前記他のデータベースにある前記顧客に係る画像処理条件を利用可能なことが好ましい。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る画像処理装置及びこれを用いたカスタマイズプリントシステムについて、添付の図面に示される好適実施形態を基に、詳細に説明する。

【0018】図1に、本発明のカスタマイズプリントシステムにおいて用いられるデジタルフォトプリンタの一例のブロック図が示される。図1に示されるデジタルフォトプリンタ（以下、フォトプリンタ10とする）は、基本的に、フィルムFに撮影された画像を光電的に読み取るスキャナ12と、読み取られた画像データの画像処理やフォトプリンタ10全体の操作および制御等を行う画像処理装置14と、画像処理装置14から出力された画像データに応じて変調した光ビームで感光材料（印画紙）を画像露光し、現像処理して（仕上がり）プリントとして出力するプリンタ16とを有して構成される。また、画像処理装置14には、様々な条件の入力（設定）、処理の選択や指示、色/濃度補正などの指示等を入力するためのキーボード18aおよびマウス18bを有する操作系18と、スキャナ12で読み取られた画像、各種の操作指示、条件の設定/登録画面等を表示するディスプレイ20、およびフィルム識別番号、顧客情報あるいは画像処理条件等の情報が登録されたデータベース40が接続される。

【0019】スキャナ12は、フィルムF等に撮影された画像を1コマずつ光電的に読み取る装置で、光源22と、可変絞リ24と、フィルムFに入射する読取光をフィルムFの面方向で均一にする拡散ボックス28と、結像レンズユニット32と、R（赤）、G（緑）およびB（青）の各画像読取に対応するラインCCDセンサを有するイメージセンサ34と、アンプ（増倍器）36と、A/D（アナログ/デジタル）変換器38とを有して構成される。

【0020】また、フォトプリンタ10においては、新写真システム(Advanced Photo System)や135サイズのネガ（あるいはリバーサル）フィルム等のフィルムの種類やサイズ、ストリップスやスライド等のフィルムの

形態等に応じて、スキャナ 12 の本体に装着自在な専用のキャリアが用意されており、キャリアを交換することにより、各種のフィルムや処理に対応することができる。フィルムに撮影され、プリント作成に供される画像（コマ）は、このキャリアによって所定の読取位置に搬送される。このようなスキャナ 12 において、フィルム F に撮影された画像を読み取る際には、光源 2 から射出され、可変絞り 24 によって光量調整された読取光が、キャリア 30 によって所定の読取位置に位置されたフィルム F に入射して、透過することにより、フィルム F に撮影された画像を担持する投影光を得る。

【0021】キャリア 30 は、所定の読取位置にフィルム F を位置しつつ、イメージセンサ 34 のライン CCD センサの延在方向（主走査方向）と直交する副走査方向に、フィルム F の長手方向を一致させて搬送する。フィルム F は、このキャリア 30 によって読取位置に位置されて副走査方向に搬送されつつ、読取光を入射され、2 次元的にスリット走査され、フィルム F に撮影された各コマの画像が読み取られる。また、周知のように、新写真システムのフィルムには磁気記録媒体が形成されており、ここに、フィルム種、撮影日、撮影時のストロが発光の有無、タイトル等の各種の情報が記録される。新写真システムに対応するキャリア 30 は、この磁気記録媒体に必要な情報を記録し、また磁気記録された情報を読み出す磁気ヘッドが配置される。磁気ヘッドによって読み出された各種の情報は、必要に応じて、画像処理装置 14 等の所定部位に送られる。

【0022】前述のように、読取光はキャリア 30 に保持されたフィルム F を透過して画像を担持する投影光となり、この投影光は、結像レンズユニット 32 によってイメージセンサ 34 の受光面に結像される。イメージセンサ 34 は、それぞれ R 画像、G 画像および B 画像の読み取りを行う 3 つのライン CCD センサを有する、いわゆる 3 ラインのカラ CCD センサで、各ライン CCD センサは、前述のように主走査方向に延在している。フィルム F の投影光は、このイメージセンサ 34 によって、R、G および B の 3 原色に分解されて光電的に読み取られる。イメージセンサ 34 の出力信号は、アンプ 36 で増幅され、A/D 変換器 38 でデジタル信号とされ、画像処理装置 14 に送られる。

【0023】スキャナ 12 は、フィルム F に撮影された画像の読み取りを、低解像度で読み取るプレスキャンと、その後に行われる、出力のための画像データを得るための本スキャンとの、2 回の画像読取で行う。プレスキャンは、スキャナ 12 が対象とする全てのフィルムの画像を、イメージセンサ 34 が飽和することなく読み取れるように、あらかじめ設定された、プレスキャンの読取条件で行われる。このプレスキャンで得られた画像データ（プレスキャンデータ）を用いて、その画像（コマ）の最低濃度よりも若干低い濃度でイメージセンサ 3

4 が飽和するように、各コマ毎の本スキャンの読取条件が設定される。従って、プレスキャンと本スキャンとでは、出力信号は、画素密度および信号強度が異なる。

【0024】なお、本発明において、画像データ供給源となるスキャナでの画像読取は、このようなスリット走査露光に限定はされず、1 コマ全面を一度に読み取る、面露光によるものであってもよい。この場合には、例えば、エリア CCD センサを用い、光源とフィルムとの間に R、G および B の各色フィルタの挿入手段を設け、色フィルタを挿入してエリア CCD センサで画像を読み取ることを、R、G および B の各色フィルタで順次行うことで、フィルム F に撮影された画像を 3 原色に分解して読み取る。また、画像データ供給源としては、このようなフィルムを読み取るスキャナ以外にも、反射原稿の画像を読み取る画像読取装置、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ等の撮像デバイス、LAN (Local Area Network) やコンピュータ通信ネットワーク等の通信手段、メモリーカードや MO（光磁気記録媒体）等のメディア（記録媒体）等も好適に例示される。

【0025】前述のように、スキャナ 12 から出力されたデジタル信号は、画像処理装置 14（以下、処理装置 14 とする）に出力される。図 2 に、処理装置 14 のブロック図を示す。処理装置 14 は、データ処理部 42、Log 変換器 44、プレスキャン（フレーム）メモリ 46、本スキャン（フレーム）メモリ 48、プレスキャン処理部 50、本スキャン処理部 52 および条件設定部 54 を有して構成される。また、条件設定部 54 は、主にプレスキャンデータから画像処理条件を設定するセットアップ部 56、顧客のカスタマイズされた要望を基に画像処理条件を一括してコード化する画像処理条件コード化部 58 および画像処理条件の設定値を変更する設定値変更部 60 を有している。また、処理装置 14 は、変更され最終的に設定された画像処理条件を出力用画像データに埋め込む埋め込み部 62 を有している。

【0026】なお図 2 は、主に画像処理関連の部位を示すものであり、処理装置 14 には、これ以外にも、処理装置 14 を含むフォトリソ 10 全体の制御や管理を行なう CPU、フォトリソ 10 の作動等に必要情報を記憶するメモリ等が配置され、また、操作系 18 やディスプレイ 20 は、この CPU 等（CPU バス）を介して各部位に接続される。

【0027】スキャナ 12 から出力された R、G および B の各デジタル信号は、データ処理部 42 において、暗時補正、欠陥画素補正、シェーディング補正等の所定のデータ処理を施され、次いで、Log 変換器 44 によって変換されて、デジタルの画像データ（濃度データ）とされる。

【0028】Log 変換器 44 で処理された画像データは、プレスキャンデータはプレスキャンメモリ 46 に、本スキャンで得られた画像データ（本スキャンデータ）

は本スキャンメモリ 48 に、それぞれ記憶（格納）される。なお、プレスキャンデータと本スキャンデータは、画素密度が異なる以外は、基本的に、同じデータである。プレスキャンメモリ 46 に記憶されたプレスキャンデータは、プレスキャン処理部 50 で処理されて、ディスプレイ 20 による表示用の画像データとされ、他方、本スキャンメモリ 48 に記憶された本スキャンデータは、本スキャン処理部 52 で処理され、プリンタ 16 による記録用の画像データとされる。プレスキャン処理部 50 および本スキャン処理部 52 における処理条件は、条件設定部 54 で設定される。

【0029】条件設定部 54 は、本スキャンの読取条件、およびプレスキャン処理部 50 ならびに本スキャン処理部 52 における各種の処理条件を設定する。前述したように、条件設定部 54 は、セットアップ部 56、画像処理条件コード化部 58 および設定値変更部 60 を有して構成される。

【0030】セットアップ部 56 は、主にプレスキャンデータを用いて、本スキャンの読取条件、およびプレスキャン処理部 50 ならびに本スキャン処理部 52 において施す画像処理、およびその画像処理条件を設定する。具体的には、セットアップ部 56 は、プレスキャンメモリ 46 からプレスキャンデータを読み出し、プレスキャンデータから、濃度ヒストグラムの作成や、平均濃度、ハイライト（最低濃度）やシャドウ（最高濃度）等の濃度ヒストグラムの所定濃度％点等の画像特徴量の算出を行なう。前述のように、その画像の最低濃度よりも若干低い濃度でイメージセンサ 34 の出力が飽和するように、本スキャンの読取条件、例えば可変絞り 24 の絞り値や、イメージセンサ 34（ライン CCD センサ）の蓄積時間等を設定する。セットアップ部 56 は、さらに、濃度ヒストグラムや画像特徴量に加え、必要に応じて行なわれるオペレータによる指示等に応じて、前述のプレスキャン処理部 50 および画像処理部 52 において行なわれる画像処理およびその画像処理条件を設定する。

【0031】画像処理条件コード化部 58 は、顧客のカスタマイズされた要望を基に画像処理条件を一括してコード化する。具体的には、まず、ラボに注文した顧客が、氏名、電話番号、年齢、性別等を記入して提出した個人情報登録票を基に、オペレータが、キーボード 18a 等からこれらの顧客情報を打ち込み、図 3 に示すようなディスプレイ 20 の表示画面で確認しながら、顧客の個人情報の登録を行なう。初めてのお客に対しては、新設モードで登録をし、すでに登録済で変更がある場合には、変更モードで変更したい項目を入力する。そして確認 OK（「もどる」または「次へ」）を入力すると、顧客情報が、画像処理条件コード化部 58 を通じてデータベース 40 の顧客データファイルに登録される。顧客情報の登録は、その顧客がそのラボに初めて注文をする

きに一度行なっておけばよく、あとは、変更が生じたときにその内容の変更を行なえばよい。

【0032】オペレータが顧客の氏名、電話番号、年齢、性別等を入力した後、確認 OK（もどる）を入力すると、そのときディスプレイ 20 に表示されている内容で個人情報データベース 40 に登録され、次の顧客についての個人情報登録するための画面が表示される。また、確認 OK（次へ）を入力すると、ディスプレイ 20 の表示内容で個人情報データベース 40 に登録され、今登録された顧客についてのプリント仕上がり内容を登録するための、図 4 に示すような画面が表示される。プリント仕上がり内容の登録においては、顧客がラボで注文を行なう際に、プリント仕上がり内容についての顧客の希望を聞き、その内容をオペレータがキーボード 18a 等から入力する。

【0033】プリント仕上がり内容は、例えば図 5 に示すように、シャープネス、階調、濃度、色（彩度）、ふち、ロゴ等について、10 項目が挙げられており、各項目についてその強調や濃度の程度や、その処理の有無等を選択するようになっている。そして、顧客の希望を基にオペレータがキーボード 18a 等から入力することで、画像処理条件コード化部 58 において画像処理条件を一括してコード化して、データベース 40 に登録するようになっている。なお、ロゴとは、図 7（a）のようにプリント画面に顧客の選んだロゴマーク 76 を入れるようにしたものであり、ふちとは、図 7（b）のようにプリント画面のふちを飾るようにしたものである。また、この他、特別仕上げとしては、図 7（c）に示すようにプリント画面あるいはプリントのふちに文字を入れるようにしたものと等ざらな処理が考えられる。

【0034】また、初めての顧客や画像処理についてあまりよくわからない顧客のために、予め決められた仕上げ内容を組み合わせたいいくつかのセットが用意されている。「標準仕上げ」、「RV（リバーサル）調仕上げ」、「風景仕上げ」、「人物仕上げ」等である。これらのセット登録の場合には、図 4 のセット No. を入力すると、セット No.、セット名称および 10 桁のコード化された仕上げ内容がデータベース 40 の顧客データファイルに登録される。

【0035】また、顧客が特別な仕上げを希望する場合には、「個別仕上げ」（図 4 で、セット No. 9）を選択し、図 5 に示す各項目について、それぞれの仕上げ内容を設定する。顧客の希望は、注文受け付け時に、ラボと顧客とのやりとりによって取得され、オペレータによってキーボード 18a 等から入力される。各項目ごとに仕上げ内容が設定され、画像処理条件が 10 桁の一括したコードとしてデータベース 40 の顧客データファイルに登録される。

【0036】また一方顧客は、プリント注文時に図 6 に示すようなプリント注文袋 70 に、氏名、電話番号、基

本注文内容、カスタマイズプリント注文の有無等を入力してラボに提出している。なお、この記入欄は、前記個人情報登録票と同じ形式をして、個人情報登録票が注文袋の上に添付され、複写式になっていて、両方を同時に記入できるようになっているのが好ましい。初めてそのラボに注文をする顧客の場合には、上で述べたように、顧客情報登録が行われ、初めてでなくして顧客情報が登録してあって変更もない場合には、顧客氏名、電話番号をオペレータがキー入力するとデータベース40の顧客データファイルから前回登録してある仕上がり内容が読み出される。

【0037】そして、今回設定された仕上がり内容、あるいはデータベース40の顧客データファイルから読み出された仕上がり内容が、バーコード化されて顧客IDとともに、フォトプリンタ10に接続された、図示しないバーコードライタによって注文袋70に、印字される。また同時に、注文袋70とネガフィルム72との照合用としてフィルム識別番号の印字されたチェックテープ(ラベル)74が注文袋70の下方とネガフィルム72の先端のそれぞれに貼付される。これにより、顧客IDおよび画像処理条件とネガフィルムとの対応が付けられる。

【0038】このようにして、同時プリントで初めて注文する場合には、そこで設定された仕上がり内容によって処理され、同時プリントでも初めてでない場合には、注文袋70に、氏名、電話番号等を記入するだけで、オペレータがこの氏名、電話番号をキー入力することにより、データベース40の顧客データファイルから、すでに登録されている仕上がり内容が読み出され、注文袋70にバーコード印字され、前回と同様の仕上がり内容でプリントが処理される。また、再プリントの場合は、同時プリント注文時の注文袋の顧客IDをバーコードリーダーで読み取ることにより、前回の仕上がり内容がデータベース40から読み出され、同時プリントと同様のプリントを出力することができる。このとき顧客が前回とは異なる特別の仕上りを希望する場合には、そのような特別の注文をして、仕上がり内容の変更をするようにすればよい。これにより顧客のカスタマイズされた注文に対応した仕上がり内容のプリントを容易に作成することができる。

【0039】設定値変更部60は、画像処理条件コード化部58によって設定された仕上がり内容、あるいはデータベース40から読み出された仕上がり内容によって前記セットアップ部56によって自動的に設定された画像処理条件の設定値を変更する。変更された画像処理条件の設定値は、本スキャンデータ処理部52および埋め込み部62に送られる。本スキャンデータ処理部52では、この設定値により画像処理を行い、出力用画像データとして出力する。埋め込み部62では、この出力用画像データに対して、その画像処理条件(仕上がり内容)の情報を埋め込む。この埋め込み方として、目立たないものではないが、プリント上でほとんど目立たないもの

の方が好ましい。それには、例えば、電子透かし技術や電子あぶり出し技術等の画像内への情報埋め込み技術を用いることが好ましい。あるいは、コード化されたこれらの情報をプリント画面の枠外に印刷してもよいし、プリントの裏面に印字するようにしてもよい。あるいは、さらに、プリントとは別の他の紙に仕上がり内容を印刷するようにしてもよい。

【0040】出力用画像データは、プリンタ16に出力される。プリンタ16は、供給された画像データに応じて感光材料(印画紙)を露光して潜像を記録するプリンタ(焼付装置)と、露光済の感光材料に所定の処理を施してプリントとして出力するプロセッサ(現像装置)とを有して構成される。プリンタでは、例えば、感光材料をプリントに応じた所定長に切断した後に、感光材料の分光感度特性に応じたR露光、G露光およびB露光の3種の光ビームを処理装置14から出力された画像データに応じて変調して主走査方向に偏向すると共に、主走査方向と直交する副走査方向に感光材料を搬送することにより、前記光ビームで感光材料を2次元的に走査露光して潜像を記録し、バックプリント(裏印字)を記録し、プロセッサに供給する。感光材料を受け取ったプロセッサは、発色現像、漂白定着、水洗等の所定の湿式現像処理を行い、乾燥してプリントとし、フィルム1本分等の所定単位に仕分して集積する。

【0041】なお、上に述べたように、コード化された情報のフォトプリンタ10への伝達は、オペレータによってコード化された情報をキー入力する方法でもよいし、電気的な接続による方法でもよいし、あるいはコード化された情報を埋め込まれた媒体(バーコードやメモリーカード等)を介しての伝達でもよい。また、本プリントシステムは、上に述べたように、データベースと画像処理装置を含みこれらの装置が電気的に接続されて機能するものである。ここで、電気的な接続とは、有線の接続および電波や音波または光信号を使用する無線の接続の両方を含むものをいう。また、顧客情報は、顧客が保有する磁気カードやICカードの情報や、バーコード等の識別記号が含まれるカードの情報をともに管理される場合や、顧客の氏名、住所、電話番号等で作成される場合を含むものとする。さらに、データベースを集計して、その初期値を変更することができるようにすることが好ましい。

【0042】以下、本実施形態の作用を、図8のフローチャートに沿って説明する。まず、ステップ100の注文受け付けにおいて、顧客が撮影済のフィルムをラボに持ち込んでプリントの注文をすると、前述したように、初めての場合には顧客の登録が行われ、初めてでない場合には顧客の氏名等をキー入力することで顧客IDや前回登録済の仕上がり内容(画像処理条件)がデータベースから読み出されて、注文袋にバーコード化されて印字される。また、注文袋とネガフィルムとを照合するた

にチェックテープが貼付される。次のステップ110で、注文袋および現像済のネガフィルムに貼付されたチェックラベルが一致していることを確認する。

【0043】チェックラベルの一致している注文袋およびネガフィルムについて、ステップ120でバーコードリーダで注文袋の仕上がり内容を示すバーコードを読み取る。次に、ステップ130においてネガフィルムをネガキャリアにセットしてスキャナ12によりネガをコマ順に読み取る。次にステップ140で、画像処理装置14において前記仕上がり内容バーコードに対応する仕上がり内容をデータベース40の顧客データファイルから読み出して、該仕上がり内容による画像処理を、前記ネガから読み取った画像データに対してコマ毎に施す。例えば、シャープネス強調、階調硬軟の画像処理をコマ毎に行なう。あるいは、プリントの端、例えば右下位置にロゴマークを合成したり、プリント下位置に一行分の文字を合成する処理をコマ毎に行なう。

【0044】次にステップ150で、シート状にプレカットされたカラー印刷紙に、レーザー走査露光等の手段により、コマ毎に露光処理を行なう。次にステップ160において、カラー印刷紙の裏面に、例えばインクリボン方式等の手段により、仕上がり内容を10桁の数字として印字する。その後、ステップ170において、露光済のカラー印刷紙を現像処理し、ステップ180において、一件毎にソートして、仕上がりプリントとして出力する。そして一件分のプリントと、ピースにカットされた現像済ネガフィルムとをプリント注文袋に入れてお客に返却するようにする。

【0045】以上詳細に説明したように、本実施形態によれば、顧客毎にその顧客のカスタマイズされた画像処理条件（仕上がり内容）をデータベースに登録し、顧客情報と画像処理条件との間のハンドリングをフィルム識別番号によって行なうようにしたため、顧客の希望を反映したカスタマイズプリントを好適に作成することができる。なお、上述したようなプリントシステムは、一つのラボ内においてのみ機能するばかりでなく、同様の機能を有する複数のラボにおけるシステムのデータベースを電気的に接続しネットワークを構成し、顧客情報を基に他のデータベース内にある顧客固有の画像処理条件を呼び出して、これを用いて画像処理を行なうようにしてもよい。このようにすれば、このネットワーク内のラボであれば、どこへ顧客が注文しても同じサービスを受けることができる。

【0046】以上、本発明の画像処理装置及びこれを用いたカスタマイズプリントシステムについて詳細に説明したが、本発明は、以上の例には限定されず、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、各種の改良や変更を行ってもよいのはもちろんである。

【0047】

【発明の効果】以上説明した通り、本発明によれば、顧

客のカスタマイズされた注文に応じて、特に同時プリントの場合においても、登録された顧客情報から顧客の希望する仕上がり内容に応じた画像処理を行い、顧客の好みを反映したプリントを作成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のカスタマイズプリントシステムにおいて用いられるデジタルフォトプリンタの一例を示すブロック図である。

【図2】 図1中の画像処理装置の概略構成を示すブロック図である。

【図3】 本実施形態において、個人情報登録時のディスプレイ画面の例を示す説明図である。

【図4】 仕上がり内容登録の内容を示す説明図である。

【図5】 仕上がり内容登録における個別仕上りの内容を示す説明図である。

【図6】 プリント注文袋の例を示す説明図である。

【図7】 (a)、(b)、(c)はいずれも顧客の特別な注文によって作成されたカスタマイズプリントの例を示す説明図である。

【図8】 本実施形態の処理の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

10 (デジタル) フォトプリンタ

12 スキャナ

14 (画像) 処理装置

16 プリンタ

18 操作系

18a キーボード

18b マウス

20 ディスプレイ

22 光源

24 可変絞リ

28 拡散ボックス

30 キャリア

32 結像レンズユニット

34 イメージセンサ

36 アンブ

38 A/D変換器

40 データベース

42 データ処理部

44 ログ変換器

46 プレスキャン（フレーム）メモリ

48 本スキャン（フレーム）メモリ

50 プレスキャン処理部

52 本スキャン処理部

54 処理条件設定部

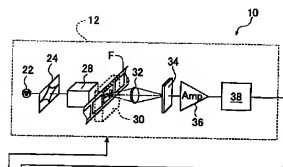
56 セットアップ部

58 画像処理条件コード化部

60 設定値変更部

62 埋め込み部

【図 1】



【図 3】

個人情報登録票

作業内容 ☐ 1. 新設  
☐ 2. 変更  
☐ 3. 削除

TEL番号

氏 名

年 令  男 ☐ 女 ☐

確 認 ☐ 1. OK(もどる)  
☐ 2. OK(次へ)  
☐ 3. 修正

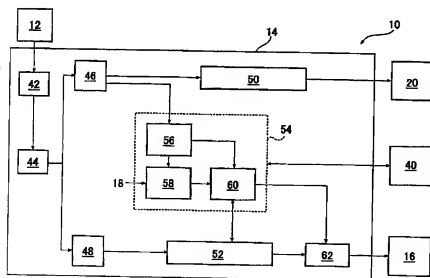
【図 4】

同P仕上げ内容登録表(セット登録)

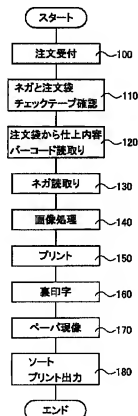
作業内容 ☐ 1. 新設  
☐ 2. 変更  
☐ 3. 削除

セットNo	セット名称	仕上げ内容(10桁)
1	標準仕上げ	000 ... 0
2	RV露仕上げ	112 ... 0
3	風景仕上げ	222 ... 0
4	人物仕上げ	322 ... 0
...	...	...
9	個別仕上げ	

【図 2】



【図 8】



【図5】

個別データ登録表						
項目No.	項目名	仕上り内容(10桁)				
0	シャープネス	1.弱	2.やや弱	3.普通	4.やや強	5.強
1	階調	1.軟	2.やや軟	3.普通	4.やや硬	5.硬
2	濃度	1.うすい	2.ややうすい	3.普通	4.やや濃い	5.濃い
3	色(彩度)	1.弱	2.やや弱	3.普通	4.やや強	5.強
4	ふら	1.なし	2.あり			
5	ロゴ	1.なし	2.TDL	3.キティ	4.フジ	
6						
7						
8						
9						

【図6】

【プリント注文表】

① 氏名  TEL No.

② 基本注文内容 a. 本方種  135/120/ ΔPS  
12/24/36 EX

b. フォトサイズ  E/L/K/M/L

③ カストマイズ\* 同P注文  あり/なし

顧客ID

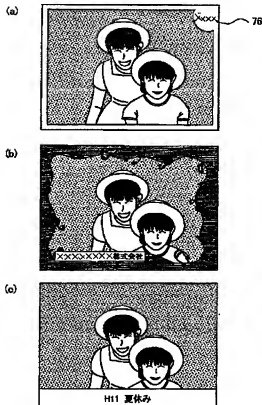
仕上げ内容  XXXX...X

3456

70

74 72

【図7】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>7</sup> 識別記号  
H04N 1/387

F I  
H04N 1/387

テーマコード\* (参考)

(72) 発明者 押越 悠二  
東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士写真  
フイルム株式会社内

F ターム (参考) 2C061 AP01 HJ06 HN20  
2C087 BA01 BA03 BA05 BC07 BD05  
BD07 CB07 DA02  
2H106 BA26 BA27 BA28 BA47 BA55  
BA72 BA95 BH00  
5C062 AA05 AA35 AB03 AB13 AC08  
AC24 AC61 AC67 AE07 AF03  
AF06 AF10 AF12 AF13 AF14  
BA00  
5C076 AA14 AA16 AA26 AA27 AA31  
AA33 BA02 BA06